



## 二月定例会

昭和五十七年二月北九州市議会定例会を、二月二十四日から三月二十五日までの三十日間の会期で開きました。

市長提出議案は、総額六千五百八十五億円をこえる昭和五十七年度当初予算案を始め、条例の制定改廃、昭和五十六年度補正予算案など七十四件でした。

このうち、土地取得等に関し、市政の最高責任者としての道義的責任を明らかにするため、市長の四月分の給料及び調整手当を支給しないとする条例については、会期の初日に審議し、原案どおり可決しました。

また、昭和五十六年度補正予算案等についてはそれぞれ所管の常任委員会に付託し、慎重に審査した結果三月十二日の本会議で、昭和五十七年度当初予算案及びこれに関連する議案については予算特別委員会を設置し、三分の分科会にわかれて慎重に審査した結果三月二十五日の本会議で、いずれも原案のとおり可決しました。

一方、議員提出議案は十二件で、そのうち十件を可決し、二件を否決しました。

# 五十七年度予算決まる

## 総額 六千五百八十五億二千万円

### 予算編成の基本方針

地方財政は、昭和五十七年度においては収支が均衡すると見込まれるものの、なお巨額の地方債発行残高及び交付税特別会計借入金残高を抱えており、国とともに行政改革の推進が緊急の課題とされている状況にあります。

そこで、行政全般にわたる見直しと合理化を図り、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に徹し、節度ある財政運営を行うことを基本とし、財政の健全化の推進及び住民福祉の向上に努めるべきであるとしています。

本市は、この状況を十分認識しながらも、新しい時代に即した都市機能の一層の充実と市民生活の安定・向上を図るものとし、昭和五十七年度予算は、第三年次を迎えた新・新中期計画の推進に努めるとともに、財源の確保並びに重



点的配分と経費支出の効率化に徹することを旨として、

(一) 高福祉都市づくりを進める。このため、市民生活のライフサイクルに対応して福祉・教育の充実に努めるとともに、市民の健康をまもるための施策の推進を図る。

(二) 快適な生活環境をもつ都市づくりを進める。このため、河川上下水道、住宅、公園、交通網等の整備に努めるとともに、市街地の整備の推進を図る。

(三) 活力ある産業・貿易都市づくりを進める。このため、産業構造の改善、臨海部の開発及び港湾機能の充実等産業基盤の整備に努めるとともに、省資源・省エネルギー対策の推進を図る。

以上の三点を基本として予算が編成されています。

### 決まった主なもの

#### 市長提出

◎昭和五十七年度当初予算

・一般会計

三、四五二億一、七〇〇万円

・普通特別会計(二十一会計)

二、六三三億 九三五万円

・企業会計(四会計)

五〇一億九、二三〇万円

・総額

六、五八五億一、八六五万円

◎昭和五十六年度補正予算

総額一〇四億二、二六七万円を減額補正するもの

・一般会計

九五億三、八六七万円を減額補正

・普通特別会計

十一億八、八二〇万円を減額補正

・企業会計

三億 四二〇万円を増額補正

◎付属機関の設置に関する条例の一部改正

・北九州市同和対策審議会の設置

市長の諮問に応じ、北九州市の同和対策の推進に係る基本的事項を調査審議するもの

・北九州市国土利用計画審議会の設置

市長の諮問に応じ、北九州市の区域の国土利用計画策定に關し、重要な事項を調査審議するもの

◎北九州市国民健康保険条例の一部改正

葬祭費を三万円から四万円に、

保険料の最高賦課額を二六万円から二七万円にそれぞれ引き上げるもの

◎北九州大学条例の一部改正

授業料、入学検定料、聴講料等をそれぞれ引き上げるもの

◎北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

小学校(赤坂、光貞)、中学校(広徳)、養護学校(八幡西)の新設と社会教育施設の使用料等を引き上げるもの

#### 議員提出

◎核兵器の全面撤廃に関する意見書

◎所得税減税の早期実施を求める意見書

◎木材関連産業の振興及び港湾労働者の雇用確保等に関する意見書

◎住宅・都市整備公団九州支社の存続に関する意見書

◎高齢化社会へ対応する福祉確立に関する意見書

◎中小、零細企業の経営危機打開等に関する意見書

◎青少年の非行防止に関する意見書

◎緊急就労対策事業及び開発就労事業の存続・活用を求める意見書

◎地域の公共交通確保に関する意見書

◎農地の固定資産税に関する意見書

# 会計別予算

総額	6,585億1,865万円
一般会計	3,451億1,700万円
普通特別会計 (21会計)	2,632億 935万円
企業会計 (4会計)	501億9,230万円

## 主な事業

### 普通特別会計

○ 国民健康保険	390.7億円
○ 競輪競艇	821.6億円
○ 下水道	450.2億円
○ 公債償還	544.0億円
○ 福祉医療	107.0億円

### 企業会計

○ 上水道	234.5億円
○ 工業用水道	52.2億円
○ 交通	31.8億円
○ 病院	183.4億円

# 予算の概要

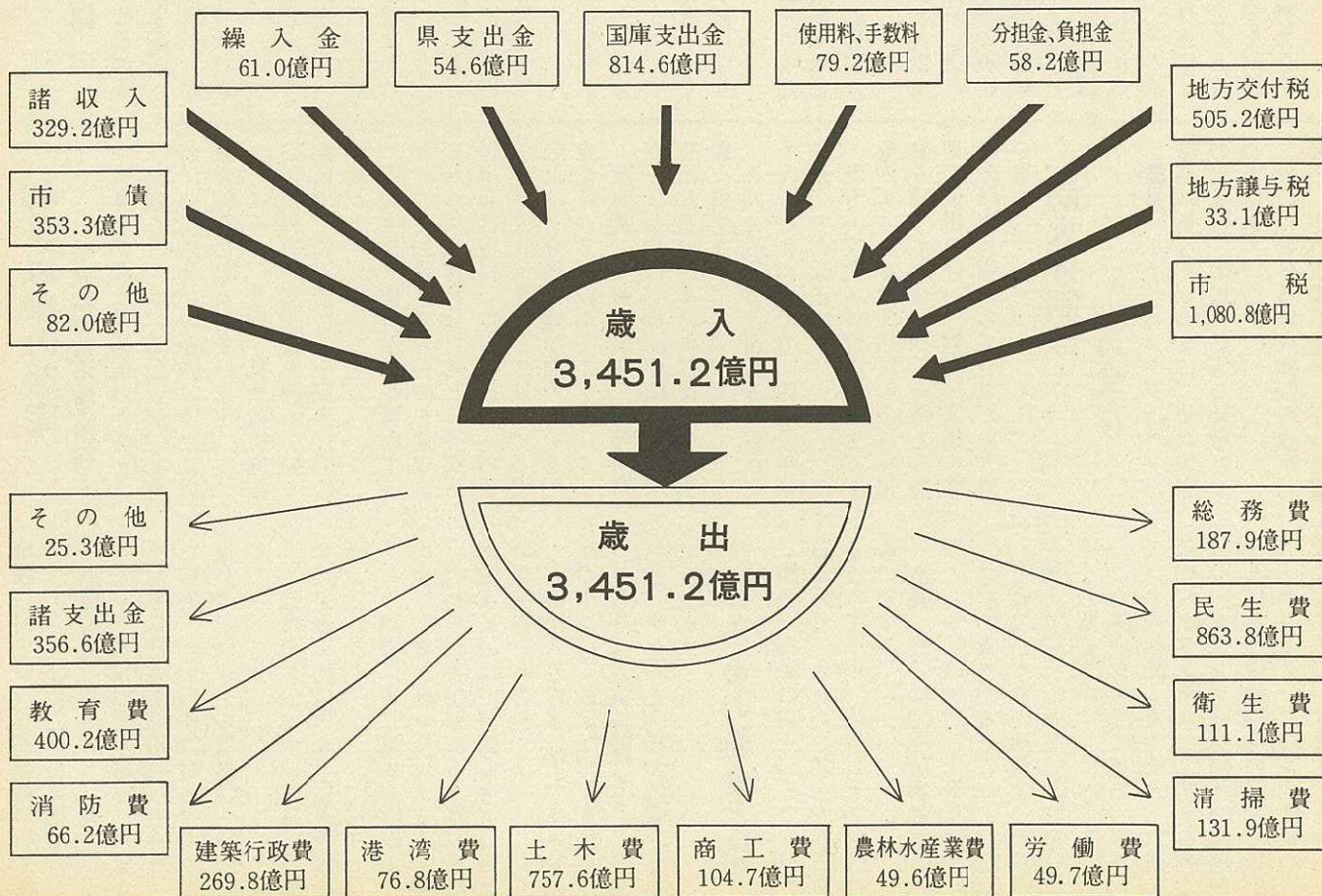
昭和五十七年度

昭和五十七年度予算が総額六千五百八十五億一千八百六十五万円と決まりました。新年度予算は、前年度の当初予算に比べ総額では四・二パーセント、一般会計で二・六パーセント、普通特別会計で七・一パーセント、企業会計で〇・七パーセントの伸び率を示す緊縮予算となっております。

なお、市長は予算の提案説明の中で、「緊縮予算ながら市民生活に密接な事業量は確保されている」「新・新中期計画の予定する投資計画を、財源とにらみあわせ優先順位に応じて着実に実行するとともに、一層経費の効率的支出と歳入の確保に努め、財政の弾力性を保持していかねばならない」と述べています。

以下、予算の概要はつぎのとおりです。

## 一般会計の内訳





**質疑 応答**

三月三日から五日間、本会議で二十一人の議員が、代表質疑と一般質疑を行いました。その中から主なものをとり上げました。

### 市民生活に

#### 支障ないか

**議員** 財政再建を推進するため、国家予算の伸び率は六・二パーセント、地方財政計画の伸び率は五・六パーセントと緊縮財政になっています。

本市の一般会計予算の伸び率も二・六パーセントと、国家予算、地方財政計画に比べ大きく下回り、本市発足以来の最低の伸び率になっています。

厳しい財政状況の中ではやむを得ないと思うが、その理由をおたずねします。

**市長** 伸び率が低くなった主な理由は、都市モノレール小倉線の開業時期の遅れに伴う工事の延ばしや、同和対策事業費について、事業が確実に執行できるもののみを計上したためです。

この二つの要素を除くと、一般会計予算の伸び率は、七・九パーセントになり、相当な伸び率になります。

従って、市民生活に密接なかわりをもつ事業の推進には支障はないと思います。

### 市債の発行は

#### 慎重に

**議員** 五十七年度末の市債現在高は、五千八百億円にも達する見込みと聞いているが、これは五十七年度予算総額六千五百億円に相当する市債額をかかえていることになりませんか。

このため、五十七年度末の市債の償還見込み額は、五百三十二億円にも達し、この五年間に二倍以上増加したことになり、公債費比率も九・五パーセントから十二・二パーセントに上昇しています。

これに対し、財政調整基金等の積立金はわずかに百二十五億円にすぎず、今後の市政の推進に心配はありませんか。

**市長** 五十七年度の市債の発行額は、一般会計で十八・六パーセント減少しています。

また、公債費比率は、政令市のうちでも中ほどにあり、伸び率も次第に鈍化してきています。

このため、現在のところ財政運営に支障をきたすことはありませんが、市債の発行については、将来の財政見通しをたて、慎重に行っていくべきです。

また、公債費比率は、政令市のうちでも中ほどにあり、伸び率も次第に鈍化してきています。

### 財政再建の

#### 影響は

**議員** 国は第二次臨時行政調査会の答申を受けて、補助金削減、公共事業の抑制等による歳出の削減を図り、財政再建を行っていますが、これによって、本市はどのような影響を受けるのでしょうか。

また、国と同様に思い切った補助金の削減等を講じる必要はありませんか。

**市長** 国の予算が成立し、各省庁からの補助内示があるまでは、どの程度の影響があるのか定かではありません。

ただし、特定地域に係る補助率のかさ上げについては、その六分の一が削除されることになっているので、これを五十七年度予算で試算すると約七億円の削減になります。

この分は、起債で措置されることになっていますが、起債は借金であり、この点からみれば影響があるといえます。

また、市の補助金と国の補助金とは、その趣旨が異なり、国の補助金の削減によって事業の廃止、縮減等はあるも、自治体の存続が問題になることはありません。

これに対し、市の補助金の削減は、それにより存立が左右される団体、組織等が多いため、その活動が停止する危険性があります。

しかし、多種類の補助金があるので、今後も無駄な補助金を削減することについては更に努力をかさねていきます。

### 43年以來の改定

#### 社会教育施設使用料

**議員** 本市は、五市の合併という経過もあって、市民会館、図書館、公民館及び体育施設等の社会教育施設に恵まれています。

ところが、今回、社会教育施設の使用料等の適正化を図るという趣旨で、約二倍に近い値上げの改定案が出されています。

市民文化や体育活動を育成するという、施設本来の目的を達成するために、営利を目的とする使用の場合には別にして、市民自らの手で作る文化活動として使用する場合には、今後の運用面で十分な配慮を行ってはいかかですか。

**教育長** 教育・文化・体育振興というものは、行政が積極的に取り組んでいかなければならない重要な事業です。

今回の改定は使用料等の適正化を図るためのもので、四十三年以来初めての改正です。

教育・文化・体育の振興上、必要があるときは使用料等の減免措置を講じていますが、今後とも適切な運用を行い、教育・文化・体育の振興に留意していきたいと思っています。

### 防火体制は

#### 万全か

**議員** ホテルニュージャパンの惨事に見られるように、防火体制の充実が、市民の切実な要望となっています。

本市における防火体制の査察状況と、その結果不適合になった建

築物に対する行政指導についてはどのようなになっていますか。

**消防局長** 昨年の八、九月にかけて、三階建以上の旅館、ホテルを対象に防火基準適合調査を行った結果、九十六件の対象物のうち適合表示マークの交付は、十三件でした。

不適合のものについては、不備な点を重点的に現在も追跡調査を行ってまいります。

この調査により違反が継続する場合は、警告書を交付するなど強い姿勢で改善指導にあたり、また悪質なものは、措置命令、公表等の処置をとる方針です。

人の出入りの多いデパート、映画館等についても定期的な査察を行っており、違反が継続するものは、旅館、ホテルと同様の処置をとってまいります。

### ふれあい基金とは

**議員** 福祉の風土づくりを進めるために、ふれあい基金を設置するようですが、内容はどのようなものですか。

**市長** 昨年は国際障害者年ということで、市民から二十万円という多額の寄付が寄せられました。これに市からの補助金一千万円を加えて、三千万円でふれあい基金を設置します。

この基金をもとにして、ボランティアの相談・あつせん、育成・研修、ボランティアに関する調査研究、ボランティア団体の連絡調整と指導、活動器材の整備と貸出し、ボランティアの実践活動の助成などをしていきます。

### 交流の輪をさらに

— 友好都市 —

**議員** 今年五月に大連市との友好都市締結三周年を迎えますが、同じく友好都市締結をしているアメリカのタコマ市やノーフォーク市との交流も、積極的に行うべきだと思います。

**市長** タコマ市は西海岸にあり、比較的往来が多く、ノーフォーク市は東海岸で交通の便の関係で、交流がタコマ市ほど思うようになりません。

七月に生誕三百周年祭の案内を受けているが、現在、式典や記念行事の内容を照会中です。

民間からは、商工会議所、日米協会が主体となった団体が、訪問する予定です。

また、ノーフォーク市から今年の夏に本市を訪問したいと申し入れがあつています。

### 職業訓練 短期大学を

**議員** 労働省の計画では、五十八年に職業訓練短期大学を小倉南区志井に設置しようとのことですが、どのようなことになっていますか。

**市長** 雇用促進事業団の小倉総合高等職業訓練校を職業訓練短期大学に転換する計画があるようですが、前提条件もあり、福岡、佐賀、長崎の三県で一か所ということ、本市に決まったということではありません。

今後、県と連絡をとり、大学への転換について、労働省と相談したいと考えています。

### 港湾機能の充実と 総合的な再開発を

**議員** 門司区西海岸のふ頭や物揚場建設費等として、約一億円の予算が計上されています。

六十三年には開港百年を迎えることでもあり、この際、港湾機能の充実を図るとともに、一九九号線を太刀浦まで延長してはいかがですか。

**市長** 西海岸は六十四年度竣工



を目途として、二十ヘクタールの埋立を予定しており、現在の十ヘクタールを加えると、三十ヘクタールのふ頭になります。

これによって、港湾の背後地の道路網の整備ができ、市街地を大型車が走るという住民の苦情にも応えられると考えています。

**議員** 整備にあわせて関門トンネルと一九九号線を結ぶ道路整備、めかり公園整備も含めた、門司港地区総合再開発計画をたてるべきではないでしょうか。

**市長** 道路の整備や船だまり一帯の整備も行うが、めかり公園を含めた総合的な再開発については、現在、基本計画を他の機関に委託しており、その結論をまつて、門司港地区の整備を図りたいと考えています。

### 婦人の地位 向上をはかれ

**議員** 近年、働く婦人が急速に増えているが、その実態は、常識をこえた低額な賃金や、社会保障の適用もないものもあるなど婦人の人権を無視するような事例が少なくありません。

婦人の地位向上についてどのようにお考えですか。

**市長** 国際婦人年も半ばを過ぎ、本市においても婦人問題推進協議会を設置して婦人問題と取り組んでいるところですが、

また、五十五年十月には民間の有識者二十人からなる婦人問題懇談会を設けて討議していただき、中間報告が出されました。本年秋には、最終的な報告を受

けることになっていたので、これに基づいて計画を立てて推進していく考えです。

婦人の社会参加については、各種の審議会委員の中の婦人委員の割合を五十六年四月までには、十五パーセントにするという目標をたてて、これを達成しました。

今後、婦人の参加の機会をふやしていきたいと思つています。

### かん・びんの 有効利用を

**議員** 資源の少ない我が国にとって、廃棄物の再資源化は再利用と並んで重要な問題であり、また空き缶等の投げ棄て防止は大切な文化行政でもあります。

本市では、五十五年十二月にかん・びん等有価物回収協議会が設置されたが、本年二月にその報告がなされたが、これに対しどのように対応されるのかおたずねします。

**清掃事業局長** 報告書の内容は関係業界と市への要望が大きな柱となっております。

市への要望に対しては、下水道の普及に伴う人員、器材の余剰を活用しながら、五十七年度に準備を行い、五十八年度からモデル地区を設けて実施したいと思つています。

また、自動販売機の設置が現在野放しの状態なので、条例による許可制または届出制の検討を進めていきたいと思つています。

缶・びん等の散乱防止対策は市民の協力がなくてはならないため、市民に対する啓蒙、啓発あるいは町美化に対する協力依頼をしていきたいと思つています。

### 58年度改定か 市営住宅家賃



**議員** 福岡市は、市営住宅の家賃を、四月から平均三十パーセント程度の値上げを予定しているようです。

本市の場合、値上げについてどのように考えていますか。

**市長** 一般住宅の平均家賃は、本市は、現在、一万百八十八円で、福岡市は、今回一万一千四百二十九円を三十パーセント値上げし、同和向住宅の家賃については、本市は二千二百円で、福岡市は二千二百円を二千四百円に改定するようです。

福岡市、県及び本市は、過去同じ時期に値上げを行つています。本市においては、福岡市と県の改定状況を見ながら、家賃の見直しを行い、五十八年度中には、改定する方向で検討したいと考えています。

### 出張所の改築は

—香月・木屋瀬—

議員 老朽化した香月、木屋瀬出張所の建替えについて地元住民の強い要望があつています。

先に市長が地元を示した、出張所統合方針に変化はないのかおたずねします。

市長 両出張所の統合は、早く実現させたいと念願しています。

事務の近代化を図り、あわせて住民の望む公共施設を付設することも考えています。

香月と木屋瀬のほぼ中央の適当な場所に、建設しようということ而努力しているところです。



木屋瀬出張所

### 水泳会場を北九州に

—六十五年国体—

議員 六十五年国民体育大会の水泳会場の引受けについて県から打診があつていますが、正

式に申入れがあつた場合、引き受ける用意がありますか。

国民体育大会にふさわしい公認プールを建設するとすれば、場所の選定や設計施工など相当の年月を要すると思うが、場所の選定について、既に検討されている箇所があればお示しください。

市長 県からの打診を受けて、関係者の意向や候補地の検討等を行つてきました。

場所については、地質の問題や交通の利便あるいは宿泊等の関連施設の問題を考え、小倉南区の文化記念公園が条件的に有利であるという結論に達しています。

ここにプールを建設し、会場を引き受けることを県と協議し、決定したいと考えています。

### はかれ

#### 学校建設用地の確保

議員 小倉南区や八幡西区において児童・生徒の急増による学校の大規模化が進み、これに伴う学校新設用地の確保が、年々困難になつていく状況があります。

今後、将来の展望に立つた大規模校の分離・新設計画の策定と、これに先行する用地取得計画の円滑な進行を図る必要はありませんか。

教育長 学校規模の適正化については、原則として三十学級、千三百人をこえ、さらに、増加が予想される場合に、分離・新設を検討することとしています。

この場合、児童・生徒数の適確な推計が必要であるため、今までの調査内容に加えて、五十六年度

から幼児数調査も実施しています。また、学校用地の取得については、近年ますます困難となつており、関係部局と連携をとりながら積極的に用地の先行取得を図つていきたいと考えています。

### 川に魚や

#### ホタルを

議員 河川整備の際に、魚やホタルを生息させるため、魚巢ブロックやホタル護岸を導入した河川工事を積極的に進めて行く必要があると思うがいかがですか。

市長 魚の生息しやすい河川にするため、現在、板櫃川(小倉北区)、稗田川(小倉南区)、熊本川(若松区)の調整池、割子川(八幡西区)等に魚巢ブロックを設置しており、今後、可能な河川にはできるだけとり入れていきます。

ホタル護岸は、小倉野川(小倉北区)で効果があつたので、現在、槻田川(八幡東区)、井手谷川(門司区)で実施しています。

今後、天籟寺川(戸畑区)、栄盛川(若松区)、朽網川(小倉南区)等の改修の際にホタル護岸を設置し、都心の近くで夏にホタルが飛び交うといった非常にほほえましい都市にしていきたいと考えています。

### 開業延期の

#### 原因・影響は

—都市モノレール—

議員 モノレールの開業時期が一年八か月延期され、五十九年十二月になつた理由は何か。また、開業が遅れば、事業費

が増大し、またその間収入も期待できないため、これらが料金に影響するのではありませんか。

市長 土地区画整理の仮換地指定や用地買収の遅れが主な原因であつて、都心の工事を相当慎重にしなければならぬ状態が重なつたため二十か月延期することになりました。

料金は、バス運賃等の関連もあり、コストだけで決定されるものではなく、いろいろな要素で監督官庁が決定するもので、直ちにはね返るとは考えられません。

### 公共施設にも

#### ゲートボール場を

議員 最近、年長者のゲートボール熱は高まる一方ですが、専用の広場が少なく近くの公園を利用してののが実情です。

しかし、市内のほとんどの公園は、児童公園として設置されているため、ゲートボールと競合して児童が遊べないなどの問題が生じています。

今後、公園、公民館等を建設する場合、ゲートボール場を併設する考えはありませんか。

市長 ゲートボール場をつくるには最低四百平方メートルの面積が必要のため、用地買収等が困難と思われれます。

しかし、今後、用地買収が可能なら、年長者の健康を守るため、ゲートボール場をつくつていきたいと思つています。



### 藍島の水不足対策は

—議員—

議員 藍島、馬島の水不足は、島の人々の生活にとって深刻な問題であり、最近降雨量も少なく、水源の水が枯渇し、風呂にも入れず洗濯もできない状況です。

藍島への海底送水管布設の調査がなされたが、どのようになつていきますか。

衛生局長 藍島には四十七年に集水池を設置したが、降雨量が少なく、最近の需要に追いつかない状況です。

若松区響町の地先から、藍島本村港北側の間約五千メートルを、幅百メートルにわたり深淺調査と底質調査を一応終了し、現在、陸上部若松側と藍島の貯水・配水施設、配水管の規模、必要水量等について調査を実施しています。

今後、これらの調査結果に基づき、総合的な検討を行い、基本的な考えをまとめたと思います。

### 委員の構成は

#### 同和対策審議会

議員 同和対策審議会の設置が予定されているが、委員の構成はどのように考えていますか。

市長 委員の数は二十人以内で学識経験者、市民団体の代表、市以外の関係行政機関の長など広く各界各層から選びたいと考えています。

議会からの代表については、今後、議会と意見交換をして決めたいと思っています。

### 実施計画の

#### 策定を

議員 本市の同和行政は、これまで長期の実施計画を持たないまま進められてきたが、早急に地域改善対策事業の実施計画を策定してはいかがですか。

市長 これまで各局ごとに必要な事業を把握し、緊急性の高いものから年度ごとに予算を組んできました。

今後は、同和対策審議会での長期的な実施計画について審議していただき、それに基づいて毎年度の予算化を図っていききたいと考えています。

### 下水道整備の

#### 見通しは

議員 下水道の建設事業費は、前年に比べ四十億円の大減額になつており、今後縮小が予測されるなかで、新・新中期計画の普及目標九十パーセントは達成できますか。

市長 九十パーセントの目標は国の政策の影響を受け、十パーセント程度下げた目標で整備を急ぎたいと考えています。

議員 下水道の普及率は、各区不均衡であり、特に小倉南区は九・六パーセント、八幡西区南部は全くないという状況です。

この不均衡を解消するため、両区を重点的に整備すべきではありませんか。

市長 小倉南区は処理場が完成し、五十七年度末には二十三パーセントに達する見込みです。

今後は、管きよ整備の段階になり、普及率は急速に伸びると思えます。

八幡西区南部は、五十三年度から楠橋ポンプ場、流入幹線等の整備に着手し、ポンプ場は五十八年四月を運転目標にしています。

これらの進行にあわせ、管きよ整備を進めるので、今後普及率は向上していくと思います。

### 料金改定近い

#### 工業用水道

議員 五十七年度工業用水道事業会計予算によると、収益的収支が二億七千三百二十九万円の赤字となっております。

また、資本的収支についても、資金不足額七千八百四十四万を一時借入金で措置することになっており、財政状況はかなり厳しくなっています。

赤字予算を編成するに至つた理由と、料金改定についてどのような考えられていますか。

水道局長 現在の工業用水道の

料金は、五十一年の十月に五十四年度までの予定で改定したが、既にその期間を二年経過しました。この間、電力料金的大幅値上げや八幡西区城山の送水管事故等により、大きな経費がかかり、従来之余剰資金を使い果しています。このままでは、事業運営に支障をきたすと思われるので、できるだけ早い時期に、料金改定をお願いしたいと考えています。

### 実現待たれる

#### パイプオルガン

議員 小倉北区大手町に建設中の厚生年金会館にパイプオルガンを設置しようと、地元文化団体の募金運動が進められています。

これを実現させるため、市も何らかの援助を行う考えはありますか。

市長 予定しているパイプオルガンの規模は全国で三番目であり、費用は二億円程度とのこと。



建設中の厚生年金会館

市にも援助の相談がありました。また、民間団体の努力で相当な額を集めていただき、その状況をみて対応を考えていきます。

### ふくれ上がった

#### 外郭団体

議員 公社制度調査会が設立され、土地取得に関し、公社制度のあり方が見直されています。

これら公社以外にも二十をこえる外郭団体があり、その職員数は二千人に近いと聞いています。

外郭団体がこれまで果してきた役割は十分に認識できるが、この際、ふくれ上がった外郭団体全般について見直しをすべきではありませんか。

市長 これまで行政的な判断を要しない事務などを外郭団体に委託してきました。

その結果、市職員数を条例定数内におさめ、膨大な事務量を処理することができました。

ご指摘の外郭団体全般の見直しについては、長い期間を要することもあり、公社制度調査会の提言の後にしたいと考えています。

### バス路線の

#### 新設を

議員 小倉北区今町から蒲生に至る路線は、河川堤防工事も完成し、道路も広くなるので、篠崎橋の完成と同時にバスが運行できるよう取り組んでいただきたい。

市長 小倉北区バス連絡協議会に対し、西鉄から篠崎橋の改修や

道路幅員がバス運行基準である六メートルに拡幅ができれば、開設をしたいとの意向が示されています。

篠崎橋の改修工事は七月末に終了予定ですが、まだ道路幅員が六メートル未満のところがあるため、ここを拡幅整備して、早くバスが通るよう西鉄に働きかけていきます。

### 議会運営委員会委員

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎吉尾 計(民 社 党)
- 三村 善茂(自 民 党)
- 佐藤 昭紀(民 社 党)
- 芳野 直行(自 民 市 民 会 議)
- 安藤 信義(自 民 市 民 会 議)
- 吉田 通生(自 民 党)
- 永田 秀雄(公 明 党)
- 常守 和明(共 産 党)
- 田中 覚(社 会 党)
- 山中 三敏(市 民 主 義 クラブ)

### 人事紹介

二月定例会で、次のかたがたが決まりました。(敬称略)

北九州市固定資産評価審査委員会委員

木元 四郎  
人権擁護委員候補者

- 藤井 周一 福田 玄祥
- 伴野 恒夫 砂田 司
- 泰松 芳子 清川 泉
- 勝本 秀道 松尾 徳助
- 安部 壽 星出 和子
- 竹森 信子 尾崎 五三

# 予算特別委員会

昭和五十七年度予算などを審議するため、三月九日の本会議で予算特別委員会を設置しました。  
この委員会は、三つの分科会にわかれて、七日間にわたって審査を行いました。  
その中から、質疑応答の主なものをとり上げました。

## 第一分科会

### 市政だよりに

#### 広告を

**委員** 札幌市と京都市では、市政だよりに有料広告をのせており、また福岡市も今年四月から実施すると聞いています。  
本市も市政だよりに広告をのせ、収益を図るべきではありませんか。  
**当局** 収入を増やすことは、積極的に行わなければならないと思っております。

しかし、広告をのせれば、その内容を審査する人員を置かなければならず、問題があると思えます。  
また、市政だよりは自治会を通じて配布されており、自治会との協議も必要になってきます。  
当面、福岡市の実施状況を見まもりたいと思います。

### 精神薄弱者のための

#### 通勤寮の増設を 授産所の

**委員** 精神薄弱者通勤寮は、精神薄弱者の雇用を拡大するうえで、重大な役割を果たしているが、現在小倉南区に一か所しかありません。

また、精神薄弱者授産施設については、昨年八月、四番目の施設である若松工芸舎が建設されたが、既に定数にゆとりがなくなっています。

今後、これらの施設の増設を図ってはいいですか。  
**当局** 通勤寮については、現在定員二十名ですが、入所希望者が非常に多く、早急にもう一か所つくべきだと考えています。

授産施設については、四月一日から若松工芸舎の定員を十五人増やす予定です。  
また、工芸舎と通勤寮を併設したものを戸畑区に建設するよう検討しています。

## 第二分科会

### 今後の市立病院の

#### あり方は

**委員** 総合基幹病院構想では小倉病院を総合基幹病院に吸収していく方針と聞いているが、基幹病院ができることにより、他の市立病院の機能が低下してはならないと考えます。  
**当局** 基幹病院と各市立病院の機能についてどのように考えていますか。

各市立病院は地域における医療機関の中核として位置付け、それぞれ特色を持たせるよう、また、総合基幹病院の医療とは競合しないように総合基幹病院設立専門委員会において検討をしています。

### 安全を期して工事を

#### 白島石油備蓄基地

**委員** 五十七年度から白島石油備蓄基地の建設が始まります。関門海域一帯には、戦時中に投下された機雷のうち処理されていないものもあると思われるが、その数は分かりますか。  
また、工事にあたっては、安全を期することが第一であり、機雷探査はどの程度行ったか、さらに今後どのように進めていくのかおたずねします。

**当局** 関門海域に投下された機雷は、約四千二百個で、このうち約二千個が回収、処理されているが、まだ、約二千二百個が残存しているものと推定されます。  
また、工事にあたっては、安全が第一であり、これまでに、同基地海域の約八十パーセントについて探査を完了しました。

四月には、海上自衛隊による掃海作業を行い、さらに、磁気探査、潜水探査、確認探査をくり返えし、安全性を確認したうえで基地の建設に入りたいと考えています。

## 第三分科会

### 生け垣に

#### 助成を

**委員** 工場等が生け垣をつくる場合、要綱に該当すれば助成の制度があるが、これを会社、商社等にも適用してはどうですか。  
また、一般住宅や団地にも、生

け垣を奨励するため、地域が一体となって行う場合についても助成策を講じてはどうですか。  
**当局** 工場については、工場等緑化推進要綱の基準にあえば助成できます。

私立の学校、福祉施設については、民有施設緑化補助金支給要綱を改正し、五十七年度から生け垣への助成ができるようにしたいと考えています。  
一般家庭、団地等についても、検討させていただきます。

### 万全の検査体制を

#### 米飯給食

**委員** 市内の全小学校で、業者委託方式による米飯給食を実施して三か月たったが、この間どのような問題がありましたか。  
業者が各学校へ配送する前か、または児童が食べる直前に検査をするような体制はとれないものではないでしょうか。

**教育長** 実施当初、保温箱において、未熟米の混入や食器のふたに付着した米粒の焦げについて、一部の学校から報告があり、それぞれに適切な措置を講じました。  
今後、炊飯機器や作業工程の整備について十分な調査・研究を行い、委託内容にそった米飯給食の実施ができるよう業者の指導を行います。

また、事前の検査体制についても十分検討し、万一事故が発生した場合の報告体制についても、学校長の責任において適切に行うよう十分指導していきたいと思えます。

